



12月号

麻布幼稚園だより

令和2年11月30日
港区立麻布幼稚園
園長 藤田 智子

『興味を広げる』

今年もいよいよ残すところあと1か月となりました。麻布幼稚園の教育活動をあたたかく見守り、たくさんのご協力をいただきましたことに感謝いたします。

相変わらず、様々な感染症対策をしながら、そしてマスクをしながらの生活が続いていますが、密を避けなければならない状況の中で、友達と関わりながら過ごす幼児期の教育の重要性、実際に体験する中で幼児が自らの力を養っていくことの大切さを改めて感じた年でもありました。今年は、このような状況の中でもできること、できる方法を考え、教育内容を工夫し、教育活動を充実させることを目指して取り組んできました。様々な行事を通して子どもたちが大きく成長する時期である2学期、スポーツデーや遠足、作品展などを通して、それぞれの成長が感じられたことを嬉しく思います。子どもたちの園生活の様子は、麻布幼稚園ホームページ「麻布幼稚園の生活」をご覧ください。

先日は、作品展のご鑑賞、参観へのご参加ありがとうございました。事前の検温、体調の記録や当日の感染症予防対策にもご協力をいただきましてありがとうございました。園内の場をいっぱいに使った展示をご鑑賞いただき、それぞれの学年の発達に即した作品から、一人ひとりの子どもたちの成長を感じていただけたことと思います。年長組のかいぞくポケットの世界は、製作段階から他学年の子どもたちも興味をもっていました。年長組の保育室がある増築棟2階から場や物作りに使う様々な材料を持って降りてくる年長組の子どもたちを、1階保育室の年中組の子どもたちは興味をもって見たり、何ができるのか質問をしたりしていました。会場となるプレイルームの前の保育室で生活している年少組は、度々ドアの外からプレイルームの中をのぞきながら、面白そうな場ができていく様子を楽しみにしていました。

作品展当日の参観では、年中組、年少組ともに、ようやく遊びに行くことができたかいぞくポケットの世界を十分に楽しんでいる様子をご覧いただけたことと思います。作品展後の翌週も、再び年長組の子どもたちが、年少組、年中組を招待してくれて、かいぞくポケットの世界を再度楽しむことができました。どの学年の子どもたちにとっても、よい経験となった活動でした。この経験が、各学級での子どもたちの遊びにもつながり、経験の積み重ねが子どもたちを成長させていきます。

事前に特集号で取組の様子を知っていただき、当日お子さんと一緒に楽しみながら作品をご覧いただけたことを嬉しく思います。行事の特集号の発行は、他の行事でも引き続き行っていきます。

さて、先週の金曜日に、11月の誕生会を行いました。誕生会で、11月の誕生児が生まれたこの季節の行事や花、果物の話をしました。作品展の生け花で花や自然物に興味をもった子どもたちに、さらに園内の自然にも興味を向けてほしいと考え、麻布幼稚園クイズを出しました。『クイズ①(園庭で採取した花を見せ、)幼稚園の園庭に咲いている花です。どこに咲いているでしょうか。』『クイズ②(黒い丸い実を見せ、)これは、何でしょうか。幼稚園の園庭でこの黒い●を探してみましょう。』

誕生会后、好きな遊びの時間に、園庭でクイズの答えを探す子どもたちの姿がありました。答えを見つけた子どもたちは、散っている花びらや雌しべ雄しべをじっくり見たり、花びらを集めて遊んだり、黒い実を割って中の種を出したりしていました。花の名前や種について図鑑で調べる幼児もいました。「園長先生、見付けたよ！」と、ワクワクした表情で発見を知らせる子どもたちの姿を見て、一緒にワクワクした気持ちになりました。知識を増やすことは、興味をもつことから始まります。実際に見て触れて、五感を通して得た情報は、子どもたちの大きな力となります。興味のもち方やその後の興味の広げ方、知識の深め方は、幼児によって様々ですが、今後も気付きのきっかけとなる環境を準備し、それぞれの興味につなげていきたいと思っております。

明日から12月です。寒さが厳しくなるこれからの時期、感染症予防にさらに気を付けて過ごすことが必要になってきます。12月も、この季節ならではの行事や冬の自然を十分に楽しめるようにしながら、子どもたちの園生活がより豊かなものとなるよう取り組んでまいります。ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。



クイズの答え、見付けた！